

議案第 110 号 第 2 次磐田市総合計画基本構想及び基本計画について

平成 28 年 12 月 19 日

絹村和弘

私は、「議案第 110 号 第 2 次磐田市総合計画基本構想及び基本計画について」に、賛成の立場で討論いたします。

第 2 次磐田市総合計画の基本構想及び基本計画は、今後 10 年間の本市のまちづくりの指針として、人口減少・少子高齢化など、行政を取り巻く環境や社会経済情勢の変化等を把握しつつ、市民意識調査や総合計画審議会等を開催し、市民の意向や意見を広く調査・分析するとともに、市議会に対しても、意見聴取を行う場を設定するなど、多くの意見を幅広く取り入れ、策定されていることが感じ取れます。

また、人口減少への対応を最重要課題と捉え、まちづくりの基本理念では、[未来のまちづくりを担う「人づくり・地域づくり」]を、まちづくりの柱では、「ものづくりとスポーツのまち」、「子育て・教育のまち」、「自然と歴史・文化のまち」、「安全・安心なまち」を設定し、本市の魅力を高め、活力を引き出す「磐田らしさ」を持ったものとしております。

このような基本構想の下、具体的に取り組む「基本施策」などを取りまとめた「前期基本計画」は、今後 5 年間で取り組む事業となっています。

中でも「学府一体校の推進」は、子どもの成長を第一に考え、子ども・教師・地域のつながりを深め、教育環境の充実を図り、将来の新たな学校づくりを進めるものであり、今後、避けては通れない少子高齢化・人口減少社会を迎えるにあたって、基本理念ともなっている「人づくり・地域づくり」を進める上で、大変重要な取り組みであると考えています。

「子ども・子育て支援」の面では、幼児教育・保育環境の充実を図る中で、「保育園の民営化」は、多様化する保育ニーズに適切に対応し、より柔軟な運営や迅速な対応が可能となります。また、保育士確保策の充実、子育て世代包括支援センターの設置による専門的相談機能の強化や「(仮称)子ども図書館」を整備して、未来を担う子どもたちとその保護者に役立つ支援を推進するなど、子育て支援充実に努める姿勢が読み取れます。

「学校給食の民間委託」については、調理洗浄業務等は民間委託化しているが、栄養士等による栄養指導、献立作成、安全安心な食材購入、地産地消等は、市が責任を持って行っているので食育の根幹は確保されています。学校給食の充実を図る中で、民間活力を生かしていくことにより効果的・効率的に進めていくことが可能になると考えます。

更に、新東名スマートインターチェンジや JR 新駅の設置、(仮称)磐田市文化会館の整備など、防災・子育て・教育・福祉・産業・スポーツ・文化など多くの分野において、本市の発展と活力を高める事業が計画されており、将来の世代へ魅力ある磐田市を確実に引き継ぐ計画であると認められ、大いに評価できるものであります。

今後、本計画の着実な推進に向け、市民とともに、市長はじめ全職員が一丸となり、全力で取り組むことを強く要望致しまして、「議案第 110 号 第 2 次磐田市総合計画基本構想及び基本計画について」に対する賛成討論といたします。